



令和 6 年 10 月 26 日（土）
江東区立第二亀戸小学校
主幹教諭 堀江美菜

学級経営～学級担任として、主幹として～

学級経営に対する私の問題

学級経営に必要なことは、何か。

私の仮説

※根拠は生徒指導提要

〈学級担任として、必要だと考えること〉

- (1) 児童の行動を称賛する、(教員から)【自己存在感の感受】
- (2) 良い行動を価値づける(児童から)【共感的な人間関係の育成】
- (3) 児童が進んで活動していくシステム作り
- (4) 環境整備と授業準備 【自己決定の場の提供】
- (5) 正しいこと、間違っていることを明確に児童と共有する【安全・安心な風土の醸成】

〈生活指導主幹として、必要だと考えること〉

- (1) 全学年の児童の様子、教師の悩みをキャッチする。
- (2) 対応策を進んで提案する。
- (3) 朝会での話、代表委員会の活動を活用して、よりよい学校生活をつくる。



実験方法・観察実験⇒結果

〈学級担任としての取り組み〉

- (1) 児童の行動を称賛する、(教員から)【自己存在感の感受】

○児童の取り組みへのフィードバックをする。

ノートやワークシートへできる限りコメント(取り組みに対して・良い姿など)
メッセージを書いた付箋を貼る 評価基準を示す ご褒美券を用意する



- (2) 良い行動を価値づける(児童から)【共感的な人間関係の育成】

○良いところ見つけを行う。

- ・帰りの会で、「友達の良い姿」「学級で頑張れたこと」を発表しあう。
- ・『ありがとう貯金』と名付けて、出てきた意見を記録し、教室掲示する。

(3) 児童が進んで活動していくシステム作り

① 議長会の設定

月のクラス目標・係活動決めなどを、議長中心に、児童が話し合う。

② 給食準備、片付けの指導

児童たち自身で協力して、すばやく、効率よく準備、片付けできるように指導する。

③ 係活動、会社の活動の充実

係活動：学校生活を行っていく上で必ず必要な役割

会社活動：学級をよりよくするため、より楽しくするために必要な役割

・帰りの会で、発表する機会を設ける。

・一か月に1回程度、カードを使って、会社活動の振り返りを行う。

(4) 環境整備と授業準備 【自己決定の場の提供】

① 朝、教室を整える

・ゴミが落ちていないように確認する。

・黒板がきれい、スッキリとしているように。朝の活動の指示を明確にしておく。

・教室換気をする。

② 教室環境の整理整頓

・棚の上に、物を置かないことを心掛ける。不必要なものは、すぐに撤去。

・棚をすっきりとさせる。目隠しも用意。

③ 授業計画ノートを作成

・授業準備をしっかりと行う。

・児童が使用しているノートと同じものを使い、児童が書き表すノートをイメージした計画を立てる。

(5) 正しいこと、間違っていることを明確に児童と共有する【安全・安心な風土の醸成】

① 児童との対話を大切にする。

個別（1対1）で話をする。

グループ（少人数）で話をする。

学級全体で話し合いをする。

☆状況やタイミングで、瞬時に判断し、対応していく。

☆自分の一人の判断では難しいときは、同学年の先生に相談する。

② 学級指導の中で必要だと思った言葉、考え方を伝える。

・掲示物を用意して、一定の期間、児童の見やすいところに掲示する。

・電子黒板で、朝のメッセージを送る。（前日の学級生活で考えてきたことや学びなど）

〈生活指導主幹として〉

(1) 全学年の児童の様子、教師の悩みをキャッチする。

- ・ 空き時間に学級の様子を観察して回る
- ・ 先生方と積極的に話す 朝、放課後
- ・ 専科の先生方からの情報収集を大切にする。



(2) 対応策を進んで提案。

- ① 学年体制で指導、対抗をしていくことを勧める。
- ② 早めに SC, SSW と連携していくことを促す。
- ③ 即時対応のすすめ

(3) 朝会での話・代表委員会の活動を活用して、よりよい学校生活をつくる。

- ① スライドショーを用意したり、クイズにしたり、1年生から6年生までの全校が、理解できる話を作成する。
- ② 代表委員会の活動の活用

あいさつ運動 いじめ防止の標語集め
二亀っ子きらり月間（全校での良いところ見つけ）
げたばこキラキラチャレンジ（靴の整頓）

(4) 生活指導便り

ねらい 頑張っている先生方の取り組みを保護者に理解してもらうこと

内容 学校における取り組み 先生方の取り組み 各学年の生活指導の様子紹介

頻度 月に1回程度

考察 ☆学級経営に必要なことは？

- ① 児童理解をし、実態に合わせた言葉かけ、授業をすること。
- ② 児童の頑張り、良い姿などを称賛し、価値づけること。
- ③ 教師（自分）の指導を、振り返り、改善、向上させていくこと。
- ④ 学校生活が楽しいと思える学級づくり、授業づくりをすること
- ⑤ 大黒柱の教師の指導がブレないこと。発言に責任をもつ。

結論 ♪♪